



# 静岡県立大学学生 SDGsインタビュー 2023

【インタビュー実施日】  
令和5年12月22日(金)10:00~12:00  
【実施場所】スマートブルー株式会社  
【ご担当者】管理部 前田ちなつ様



お忙しい中ご協力  
いただきありがとうございました！  
12/22

01

## スマートブルー株式会社について

### ●企業理念

「持続可能性の追求」を企業理念とし、ソーラーシェアリングを中心に耕作放棄地の解消や再生可能エネルギーの調達など環境問題の解決に努めている。



## インタビュー先企業様

# スマートブルー株式会社



SMART BLUE  
スマートブルー株式会社

03

## SDGsへの取り組み①ソーラーシェアリング

### ●ソーラーシェアリングとは？



スマートブルー株式会社の中でも大きな事業であるアグリビジネス事業の一つ。農地の上に太陽光パネルを設置することで、農業をしながら同じ土地で発電をおこなう。地方の行政や企業を中心に次世代農業のあり方として提案している。

そうはいつてもソーラーシェアリングはまだハードルの高い選択肢。例えば、莫大な設置費用や契約年数の長さといった特徴があるため、これから先も農業を続けていける環境がないと、個人の農家さんでは導入することは難しい。



### ●もっと知ってもらい、活用の場を増やす



それらの課題を乗り越えるために、企業ホームページをリニューアルしたり、ソーラーシェアリングによって自社生産したブルーベリーをクラフトビールに加工し販売をしたりするなど、より知ってもらうための試行錯誤は数知れない。

アピール先は、農家だけではない。耕作放棄地などの問題を共有する地方自治体や一企業を対象にその需要に合わせた事業を提案していくことも欠かせない。ソーラーシェアリングの先駆者として、その課題点も将来のイメージも深く見えているからこそ提案できることがスマートブルー株式会社には豊富にある。

04

## SDGsへの取り組み②マコモダケの栽培

### ●マコモダケ

イネ科でタケノコに似た見た目や食感をもち、水辺に生息する植物で、耕作放棄地の解消に役立つとされている。また味にクセがないためどんな調理法にも合うと言われている万能食材。



### ●マコモダケ大収穫祭

地域住民と収穫体験をするイベントを開催した。他にもマコモダケの試食会や葉を利用した工芸体験などを行なった。子どもたちをはじめとした多くの人々の方々が参加した。



### ●県内のスーパーで販売

実際にマコモダケを県内のスーパーで販売。すぐに完売をするほどの人気であった。とはいえまだ知名度が低いため、秋の食卓にマコモダケが当たり前になっている未来を目指している。



02

## 調査方法について



2023年12月22日にスマートブルー株式会社の静岡オフィスを訪見し、担当の前田様に直接お話を伺った。



05

## SDGsへの取り組み③



女性も活躍できる環境づくりを心掛け、積極的に女性を採用している。また結婚、出産、子育てなどのライフイベントにも柔軟に対応しており、常に人材を大事にすることが企業の持続可能性につながる、という考え方が実際の働き方に落とし込まれている。

06

## 今後の展望

持続可能な社会の実現が求められる現代で、SDGsを意識した取り組みをどれほど行っているかが会社の大きな強みとなる。そのため自身の「環境にやさしい」取り組みをブランド化し、多くの方との信頼を築き上げていきたいと考えている。



07

## インタビューを行った感想

ソーラーシェアリングを「投資」としてではなく、未来のスタンダードとして捉え、その選択をする「ブランド力」として勧めることや、社内で共有しておきたいものを本などの目に見える形でオフィスに置いておくことなど、実際にインタビューを行って見なければ分からないことを知ることができた。会社全体としても、男女比は半々で女性の発言力が高いこと、他部署の社員さんとビールを開発するなど、発言のしやすい社内の雰囲気を感じることができた。